



# こしみず町 議会だより

News from koshimizu town assembly



第2回定例会は3月9日に開会し、新年度予算案審議（予算審査特別委員会）を含む17日までの日程を終了しました。今月号では、意見案1本、町長の町政執行方針と平成22年度各会計予算案についての質疑についての内容をお知らせいたします。

## 総括質疑

### 行財政改革

**問** 町政執行方針において、「地域住民と一体となった効率的、計画的な行政運営」とは具体的にどのようなことなのでしょうか。

**答** 行財政改革は役場職員だけで出来るものではないと考えています。一方的にこうですと言って予算を削減することでは、住民の皆さんの理解を得られませんが、住民の皆さんと共通した認識を持つ事が重要となります。

**問** こうした意味から住民と一体となり行財政改革を進めていくことが大事だと考えています。

### 自主自立

**問** 「生まれ育ったふるさと小清水の自主自立」とは具体的にはどのようなことですか。

**答** 小清水町が将来に亘って小清水町として生きていく、市町村合併をせずに自分の町は自分の力で独り立ちできるような町づくりを進めていきたいと考えています。

### 公契約条例の制定

**問** 各自治体が公契約条例を作り、下請業者を守っているという動きがありますが、地域経済に寄与する目的でこの条例を制定する考えはありませんか。

**答** 将来的な課題として考える必要はあると思いますが、今率先して制定することは考えておりません。現状の契約方法の中でそういった口頭指導は可能だと思います。

### シーリング

**問** 英語で天井・限度を意味することから、予算については枠内配分を設定すること。

**答** 公契約条例 価格以外の要素である公正労働基準、環境への配慮、男女平等参画などを含めて総合的に評価し、発注者である自治体にとって最も有利な者を落札者とする方式。

### 赤十字病院

**問** 小清水赤十字病院への支援について、町と病院との間で情報交換などの協議がなされたうえで支援対策を行っているのでしょうか。

**答** 小清水赤十字病院に対する支援の方法については、国の制度が特別地方交付税で新たに創設された事から、本年度から一部補助の考え方を考えようと思っております。

**問** 今後とも、小清水赤十字病院とは、十分連携をとり、意志の疎通を図りながら、町民の健康を守るため、病院の維持に努力して参りたいと思っております。

### 高齢化対策

**問** 少子高齢化が進んでいく中で、老人福祉のあり方について、具体的にどのような事を考えていますか。

**答** 私の選挙公約の中にもありますが、現在の愛寿苑が老朽化していることから、将来の愛寿苑改築基本構想の策定をお約束します。

### 農業後継者対策

**問** 町の基幹産業である農業について、後継者問題がありますが、もっと予算を付ける等、対策を行っていただきたいのですが。

**答** 農業後継者花嫁対策については、農業委員会、町、農協とタッグを組み、取り組みをしておりますが、お金を付ければそれで解決する問題ではありません。今後とも力を入れていきたいと思っております。もし予算が足りないという事であれば、措置をすることはできないと考えております。

### 農業振興の展開

**問** 所得補償政策が変わっていく中で、農業振興について運動を展開していくとありますが、具体的な展開の考え方を聞かせていただきたい。

**答** 畑作農業を守るのが、私の使命でございますので、政治的な要請、また関係団体、町村会などを通じて制度の充実については努力して参りたいと考えています。

### 商工の活性化

**問** 商工会が実施した付加価値商品券について効果をどう捉えていますか。

**答** 年末から3月末までの短期間に商品券として約5千400万

### 地域活性化事業

**問** 円分、町内で買われたということから非常に効果があったものと考えています。

**答** 住宅の増改築などに補助する地域活性化事業については、解体については景観上、防犯上からも出来れば壊したい方が多いと思いますが、解体分については、柔軟性を持って取り組むことは考えています。

### 高校の存続

**問** 道立高校の統廃合を目にする度、本町で実施する就学助成などの存続対策で問題が解決することにはならないと思っております。

### 答

町内の子どもの数を考える時、将来とも小清水高校が存続するべきなのかを真剣に考えなければならぬと思っております。PTAの皆さん、町民の皆さんから広くご意見をいただいて、子どもの目線に立って考える事が大切であろうと考えております。

そういった町内の話し合いの結果、一定の方向が出れば、道教育委員会などと相談して参りたいと思っております。